

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2025年12月19日）

■第1版 第2刷（2025年2月1日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758121699_corrections.pdfをご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
5章 抗がん薬					
106	Column①の5行目	ジヒドロピリジン脱水素酵素(DPD)	ジヒドロピリミジン脱水素酵素(DPD)	「ミ」が抜けています	25/03/07
115	図7B) 下の文章2~3行目	抗原提示細胞のCD80/86に対しCD8+T 細胞のCD28が結合するできる～	抗原提示細胞のCD80/86に対しCD8+T 細胞のCD28が結合できる～	「する」をトル	25/04/04
10章 循環器系疾患治療薬					
228	左の側注スペース の図			※3参照	25/07/04
14章 漢方薬					
189	◎麦角系ドバミンア ゴニスト 1行目	麦角系アゴニストは心臓弁膜症や 心肺 後腹膜線維症 きたすことがあるため、～	麦角系アゴニストは心臓弁膜症や 後腹 膜線維症 をきたすことがあるため、～	「心肺後腹膜線維 症」→「後腹膜線維 症」 「を」が抜けています	25/12/19
189	◎麦角系ドバミンア ゴニスト 「有害作用」	心肺後腹膜線維症	後腹膜線維症	「心肺後腹膜線維 症」→「後腹膜線維 症」	25/12/19
318	9行目	低アルドステロン症があり、	偽アルドステロン症があり、	「低アルドステロン 症」→「偽アルドス テロン」の誤り	25/07/11
323	問1のb)	低アルドステロン症を引き起こすこと がある。	偽アルドステロン症を引き起こすこと がある。	「低アルドステロン 症」→「偽アルドス テロン」の誤り	25/07/11
327	右の側注 1行目	低カリウム 血漿	低カリウム 血症	「血漿」→「血症」の 誤り	25/12/19
327	右の側注 4行目	高カリウム 血漿	高カリウム 血症	「血漿」→「血症」の 誤り	25/12/19

図表

※3	(修正前)		血管内皮細胞 NO 活性化 刺激 sGC 刺激薬 血管平滑筋 GTP cGMP↑ PDE5 血管拡張作用	PDE5がcGMPから GTPを生成するよう にみえるため、修 正いたしました。	25/07/04
	(修正後)				